

道 徳

東 京 書 籍
学 校 図 書
教 育 出 版
光 村 図 書
日 本 文 教 出 版
光 文 書 院
学 研 教 育 み ら い
廣 濟 堂 あ か つ き

令和元年度

中高・飯水地区小中学校教科用図書採択研究協議会

(種目：道徳)

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍（新しい道徳）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容理解を促す発問と、自己の生き方を考える発問が焦点化されており、児童自らが道徳的価値と向き合えるよう工夫されている。 ・道徳的価値に根差した問題解決的な学習を配置し、その中で児童の問いを立ち上げる発問や他者とのかかわりで考えられる発問を示し、多様な価値観を引き出せるよう配慮されている。 ・道徳授業が起点となり考え続けたいくなる活動を配列することで、生き方についての考えを深められるよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 歌、写真、先哲の生き方など、多様な教材を、発達段階に合わせて系統的に配置し、児童自ら関心を持ち読み進められる配慮がされている。 (2) 「つながる・広がる」では、各教科等での道徳性の育成につながる教材や学習活動を取り上げ関連が図れるよう工夫されている。 (3) 発達段階に合わせた人間関係の築き方の活動が示され、実際に関わり合う活動で道徳的価値が深められるよう配慮されている。 (4) 「問題を見つけて考える」で、発達段階に応じた問題を、児童自ら他者と関りながら追求できるよう配慮されている。 (5) 教材中の人物について、性別による偏りや身体的な特徴の表現の仕方など、人権教育の視点から配慮されている。 (6) 発問を線で囲み、改行位置を配慮することで、考える視点について着目できるよう工夫されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 教材を各学年の発達段階に合わせて適切に配列したり、教材で学んだことを基に自分とのかかわりで考えられる教材を配置したり、道徳的価値の自覚を深める指導ができるよう配慮されている。 (2) 話し合い活動を促す教材を巻頭に見開きで配置し、授業のはじめに、道徳授業での話し合いや追求の在り方について指導できるよう配慮されている。 (3) 全学年でいじめ問題、情報モラル等の現代的な課題の教材を配置し、特にいじめ問題については「いじめのない世界へ」で問いを立ち上げられるようにし、複数教材で考えられるよう配慮されている。 (4) 巻末に折り込みとして多数の写真、歌、先哲の生き方の紹介などが用意され、他教科の学習と関連させたり、家庭・地域との相互の連携を図ったりできるよう工夫されている。 (5) 学習の「記録」「振り返り」「まとめ」があり、児童の実態に合わせた評価欄に毎時自己評価できるようにし、また学期毎、年毎に自己評価頁を設け、成長の様子を継続して把握できるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習が進められるように教材が配置され、児童と教師が問題を共有して追求が進められるよう発問が精選されている。 ・学びを振り返る多様な教材が付いており、児童の実態や教師の支援に応じて活用できるよう配慮されている。

(種目：道徳)

発行者名 採択基準	学校図書 (かがやけ みらい)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">・教材文のみ掲載の「きづき」と、発問と活動や記述欄を掲載した「まなび」の分冊になっており、児童の実態の応じて使い分けができるよう配慮されている。・自他の考えを比べたり体験から立場の違いを考えたりできる発問や活動を示し、多面的・多角的に考え、対話を通して考えを深められるよう工夫されている。・「まなび」の教材配列が視点ごとにまとめられており、視点毎の振り返りや、自他の評価ができるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 「きづき」は、児童の生活場面に則した教材を発達段階に応じて配置し、児童が興味・関心をもって読み進めることができるよう配慮されている。(2) 「きづき」には、教材文のみが掲載されており、教材を読んだ際に児童自らが問いを持てるよう工夫され、また情景描写が細やかで登場人物の心情や背景を理解する手助けとなるよう配慮されている。(3) 「まなび」での発問は、「考えよう」「みつめよう」の2つに統一されており、学びの道筋が定着しやすい。また「自分の考え」と「友達の考え」の記述欄があり、他者の考えに意識を向けられるよう工夫されている。(4) 「まなび」の巻末に「まなびのヒント」を掲載し、他者と共に追求する際の留意点や多様な学びを示し、児童が実際に行いたくなるように工夫されている。(5) 発達段階に応じた字の大きさや行間で、太さの抑揚が少ないフォントを使い、見やすさ、読みやすさが配慮されている。(6) 「きづき」では、ページ毎に写真や絵が入っており、内容理解を促す配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 「きづき」は文章だけでなく、新聞記事や漫画など多様な読み物教材を学校行事や発達段階に配慮して配置し、児童の興味・関心を促せるよう配慮されている。(2) 教材文と発問が分冊形式になっており、児童の興味・関心や実態、ねらいに合わせて活用しながら、多様な授業づくりがしやすいよう配慮されている。(3) 現代的な課題として情報モラル、キャリア教育、いじめ対応等を全学年で扱っている。(4) 「まなび」には、自分と友達の考えを記述する欄を設けており、他者との対話の中でよりよい判断を促すことができるよう配慮されている。(5) 「まなび」では、視点毎に教材がまとめられており、児童自身が学習のつながりや深まり、自己の成長を感じることができるとともに、教師側もそれぞれの視点についての児童の育ちを、記述内容を基に捉えられるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">・分冊形式で読み物と発問が分けられており、児童の実態に応じて多様な授業づくりを通し、多角的多面的な追求を保障している。・読み物教材のみを扱った際、児童が立ち上げる問いを基に、教師の持ち味を生かした多様な授業展開が可能である。

(種目：道徳)

発行者名 採択基準	教育出版 (はばたこう明日へ)
1 教科の目標からの配慮	・小学校でありがちなトラブルや行き違いが題材として設定されており、児童自らが日常の自身と重ねて自分の生き方を考えられるようにすることで、よりよい生き方を志向できるよう配慮されている。 ・役割演技や動作化の活動を示し、感じた思いを伝えあうことで、道徳的価値を多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。 ・先哲の生き方から、自己の生き方について考えを深める学習ができるよう、教材配列が工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) スポーツ選手や日本社会の発展に貢献した先人や偉人に関する題材など、児童の興味関心を引くように、配慮されている。 (2) 動作化や役割演技などの活動のやり方を吹き出しとイラストで示すことで、児童が事象を自分の引き寄せて考えられるよう工夫されている。 (3) ロールプレイングを促す発問が随所に設置され、教材の一場面を演じたり、自分だったらどうするかを考えて演じたりする体験的な学習を通して、道徳的価値を多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 (4) 教材文の後に児童が自分が共感できそうな考えを複数示し、児童が多面的・多角的に考えるきっかけがつかめるよう配慮されている。 (5) 平仮名は、文字の結びの部分の空間を広げ、漢字は文字の線間の空間を広げるなど、視覚性を高めるよう配慮がなされている。 (6) さし絵や写真を使い分けたり、さし絵の色彩やタッチを変えたりするなど教材に応じて児童が無理なくイメージを膨らませて学習できるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 低学年では物語教材、中学年では生活教材、高学年では先哲の生き方を取り上げた実話教材を盛り込み、発達段階に応じた教材配列が工夫されている。 (2) 「やってみよう」を提示し動作化や役割演技をしたり、自分だったらどうするかを考えたりする体験的な活動を促すことで、他者と関わり合いながら学習に取り組めるよう配慮されている。 (3) いじめ問題、社会参画教育、伝統文化教育、情報モラルなどの現代的な課題について、複数の内容項目から多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。また、モラル、ソーシャルスキルトレーニング等が設けられている。 (4) 挿絵に吹き出しを入れる題材がいくつか設定されている。児童が自らを重ねて思考することができるよう工夫されている。 (5) 巻末の「学びの記録」と「一年間の道徳の学習の振り返り」を利用し、学期末や年度末に道徳授業で心に残ったことなどを記録し、児童の学びや成長が把握できるように工夫されている。
4 全体的な特色	・道徳的な行為に関する体験的な学習を取り入れ、児童が自ら考え、友の様々な考えに触れて思考していけるように工夫されている。 ・先人や偉人の生き方を取り上げた教材により、生き方へのあこがれと共感を抱き、よりよく生きることの素晴らしさを実感できるよう工夫されている。

(種目：道徳)

採択基準	発行者名 光村図書（きみがいちばんひかるとき）
1 教科の目標からの配慮	・教材の導入として、キャラクターによる呼びかけが示され、自分ならどうするかを主体的に考えられるよう配慮がなされている。 ・教材と教材をつなぐコラムを設け、児童が考え、話し合い、演じ合う中で多面的・多角的に考えられるように配慮されている。 ・第2学年以上の教材末に、他教科で学習する内容や特別活動との関連付けや、図書の紹介等が示されており、学びの幅を広げられるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1)児童に身近な問題や日常の葛藤場面に焦点を当てた教材を発達段階に応じて取り上げ、児童の興味・関心を引くように配慮がなされている。 (2)教材の冒頭にキャラクターから呼びかけが示され、児童の経験や考えを引き出すことで、主体的に考えられるよう工夫がされている。 (3)「考えよう・話し合おう」では児童自らが仲間と思いを伝え、自身の思いを見つめ直したくなる発問の工夫がされている。 (4)体験的な学習「演じて考えよう」が豊富に設けられており、具体的に演じるときや話し合いの観点を示すことで、児童が切実さをもって考えが深められるよう配慮がされている。 (5)紙面の幅を広げ字体を大きくすることで行間が広がり、文字や絵が濃く印刷され、と見やすさに配慮されている。 (6)ユニバーサルデザインの観点に立った配色や、挿絵や写真の配置、QRコードによる音声教材の提供など、児童に情報が伝わりやすいように配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1)児童の成長を考慮した3つのまとまりに分けて年間の単元を構成し、まとまりごとのテーマを目次に示し、いじめ問題や情報モラル、環境問題等の現代的課題を系統的に扱えるなど、教材配列について工夫がされている。 (2)2年生以上の教材末の「学習のてびき」には「つなげよう」が設けられ、他教科や学校行事との関連付け、関係する図書の紹介があり、計画的・発展的な指導ができるよう配慮がされている。 (3)複数の教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を位置づけ、コラムでいじめや情報などの現代的な課題が豊富に取り上げられ、多面的・多角的に考える場を設定できるよう配慮がされている。 (4)第2学年～6学年では、該当学年の配当漢字すべてに振り仮名が付されており、読みの負担が軽減されるよう配慮がされている。 (5)「学びの記録」が学年3か所に位置付けられており、教師が長期的に児童の成長を見ること児童が自らの成長を実感できるよう構成の工夫がされている。
4 全体的な特色	・児童の発達段階に合わせた形で、「生命の尊さ」を扱った教材を全学年に配置し、「命」の大切さを意識できるよう配慮がされている。 ・児童が自分の問題と捉えることができるような構成となっており、各教材のまとまりや連続性も意図され、問題解決的な学習、体験的な学習が展開できるよう工夫がされている。

(種目：道徳)

発行者名 採択基準	日本文教出版（生きる力）
1 教科の目標からの配慮	・学ぶ道徳的価値や、道徳的価値に迫る発問が教材冒頭に示されており、学習の意義を理解し、進んで学習できるよう工夫されている。 ・問題解決的な学習やロールプレイング、グループ学習など、様々な学び方が示されて、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ・「見つめよう生かそう」の発問を設けることで、教材の内容を自分ごととしてとらえ、よりよい生き方についての考えを深められるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等〕	(1)「道徳ノート」が別冊で付き、文字が未取得の時期でも印や色を付ける方法で学びの記録ができるよう工夫されている。 (2)物語や実話、地域別教材、直筆の資料や動画があり、児童が教材の中の人やことに関心をもって追求に臨める配慮がされている。 (3)「考えてみよう」での発問を1つに絞ることで、道徳的価値について児童が熟考できるよう、また「みつめよう生かそう」の発問の例示により、学習したことを日常的に生きて働くよう配慮がなされている。 (4)「学習の手引き」を配置し、問題解決的な学習やロールプレイング、グループ学習について、写真や図、イラスト等で例示され、様々な側面から追求できるようにし、より深く考えられるよう配慮がされている。 (5)文字が大きく、文字数や情報量も各学年にあった適切な量で構成され、教材に集中できるよう配慮がされている。 (6)教材名の横にあらすじや登場人物を示したり、背景の色の違いや登場人物の特徴を際立たせたりして、場面把握が容易になるよう配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	(1)先哲の生き方、物語など、児童の発達段階に応じた教材や、動画等の読み物教材の理解を深める補助教材、地域の特色を生かした地域教材や日本各地で起きた出来事をもとにした教材等を揃え、児童の追求への興味・関心を喚起する指導への配慮がなされている。 (2)全教材で、学びの流れが発問で示され、特に教材冒頭で児童の問題意識を喚起する発問を起点に追求できるようになっており児童の問いを大切にしたい指導ができるよう配慮がされている。 (3)全学年でいじめ問題に関わる教材や情報モラルに関する教材、安全に関する教材等を掲載し、継続的かつ計画的に学習できるよう配慮がなされている。 (4)写真や絵図が豊富かつ色彩が鮮やかで、見開き一面で扱ったり、印象的な場面や部分をアップにしたりして、指導過程で内容の理解を補えるような配慮がなされている。 (5)別冊の「道徳ノート」に自由記述欄を設け、自分や友だちの考え、学んだことなど、学習の歩みを記録できるよう配慮がなされている。
4 全体的な特色	・さまざまな学び方を図や写真で明瞭に示したり、学びの流れを3つの発問で示したりすることで、児童と教師が追求への見通しをもち、主体的に学べるよう配慮がされている。 ・学習の振り返りを記録し、考えの変化や成長を確かめたり、巻末の保護者記入欄により家庭との連携を図れるよう工夫がされている。

(種目：道徳)

採択基準	発行者名 光文書院（小学道徳 豊かな心）
1 教科の目標からの配慮	・各教材の冒頭にこの教材を通して考えたいことを示してあり、児童が問いをもって追求できるよう配慮されている。 ・教材を読み進める際、ページ下部に考えを深めるためのポイントを提示し、多面的・多角的に物事をとらえる学習ができるよう配慮されている。 ・教材の終末に道徳的価値を高められるようなまとめの問いと、実行するための問いを示し、その教材を通して考えたことを日常生活に生かせるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	(1)実話をもとにした教材、物語教材、アニメキャラクターが登場する教材等、児童の発達段階に応じた多様な教材を40種配置し、児童が関心を持って追求できるよう配慮されている。 (2)教材の冒頭の問いかけで主題に関わる問題意識を持たせたり、教材欄外の発問が適切に配置されたり、児童が追求したくなるよう配慮されている。 (3)教材終末には、「～についてまとめましょう」「～を伝え合いましょう」など追求への具体的な促しがあり、児童が主体的に、相互に関わり合って学習できるように工夫されている。 (4)「みんなでやってみよう」のページが全学年にあり、継続的体験的な学習を通して考えることができるように配慮されている。 (5)挿絵や写真がふんだんに使われ、単元の内容ごとに見出しを色分けし、1年生は見開きで1単元が扱えるよう配慮されている。 (6)物語教材では登場人物を教材の最初のページにイラストで示し、内容をとらえやすくできる配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	(1)教材は発達段階に応じた配列であり、生命尊重、情報モラル等の全学年共通のテーマについては単元で学習できるように配慮がなされている。 (2)各学年に「〇年で特に考えたいこと」として重点主題を年間通してバランスよく配置し、中表紙に大きく発問を示し、その後2つ以上の教材を掲載し、意識を継続して学習できるよう配慮されている。 (3)いじめ、情報モラルなどの現代的課題について、全学年で連続して学習できるよう配慮されている。 (4)内容や登場人物の心情理解がしやすいように挿し絵や写真が配置され、大きさや配色にも配慮されている。 (5)巻末の「学びの足跡」では、1、2学年は「かお」、3学年以上は「心の矢印」の欄を設け、児童が1学期の振り返りを短時間で記入でき、蓄積できるように工夫されている。
4 全体的な特色	・全学年通して、冒頭で問いの発問、教材を読み進めながら考える発問、終末で振り返りの発問で学習の流れが構成されている。 ・「広げる」発問で自分との関わりで実践的に道徳的価値を考えられるよう配慮されている。

(種目：道徳)

発行者名 採択基準	学研教育みらい (新・みんなの道徳)
1 教科の目標からの配慮	・教材冒頭に主題名を記載しないことで、特定の価値観の押し付けにならないようにし、児童の問いを大切にできるよう配慮されている。 ・重点内容項目について「ユニット学習」を設定することで、自己の生き方への考えを広げ、深められる工夫がされている。 ・つなげ、広げ、深め、やってみようという内容の特設ページを配置し、多様な学習形態で追求できる配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 【本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等】	(1)話し合いを1年生は2人組、2年生以上は4人組と例示するなど、発達段階に応じて学習が進められるよう工夫されている。 (2)教材冒頭に主題名を記載しないことで、その児童なりの問いを持てるようにし、それに沿って他者と対話したり、自己との関わりを問い直したりすることができるよう工夫されている。 (3)各学年に役割演技を行う教材があり、演技の仕方をイラストで示すの初めにし、困難なく活動が行える配慮がされている。 (4)教材末の「考えよう」では多様な思いを引き出せる発問や自己の生き方を考える発問が用意されており、多面的・多角的に考えりことができるよう配慮されている。 (5)見開きページ右上に四つの視点尾を図と言葉で示し、何について学ぶのかを児童が把握できるよう配慮されている。 (6)淡い黄色の紙を用いており、イラスト、写真、文字等を際立たせるための配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 【「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価】	(1)学年ごとに、発達段階を考慮した重点内容項目で「ユニット学習」を設けたり、年間を通じた学びについて示していたりして、見通しを持った指導が行えるよう配慮されている。 (2)教材の後に「つなげよう、広げよう、深めよう、やってみよう」というコラムを設け、道徳的価値について、多面的・多角的に考え、より深く学べる場を設定できるよう配慮されている。 (3)全学年でいじめ問題、情報モラルなどの現代的な課題の教材を配置し、特にいじめ問題については各学年、複数の教材において、様々な側面から考える場を設定できるよう配慮がされている。 (4)写真、イラスト、漫画などをふんだんに活用したり、見開きで原寸大の写真を掲載したりすることで、児童がイメージを持ち、自分との関わりで、考えることができるよう工夫されている。 (5)学びのはじめに「自分のことを書いてみよう」、終わりに「心の宝物」を記入する欄を設け、児童の変容、成長を把握できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・教材冒頭に主題を明示せず、多様な価値観を表出できる教材を盛り込むなど、道徳的価値を多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。 ・重点内容項目で題材をくくったり、多様な学習活動を取り入れたり、様々な側面から考えたりできるよう配慮がされている。

(種目：道徳)

発行者名 採択基準	廣濟堂あかつき (小学生の道徳)
1 教科の目標からの配慮	・教材末の「考えよう 話し合おう」の問いかけを手掛かりにして、児童が道徳的価値の追求ができるよう配慮がされている。 ・3年生以上は、関連書籍や格言を用いて「学習を広げる」発問により、多面的・多角的に道徳的価値をとらえる配慮がされている。 ・本冊と別冊「道徳ノート」を用いて考えたことを書き綴る学習を通して、道徳的価値を深められるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1)文章の長さや分量、発問の質や量について、一単位時間内で追求できるよう、発達段階に応じた配慮がなされている。 (2)本冊で考えたことと関連させて別冊「道徳ノート」で考えることで、道徳的価値の理解を更に深めたい工夫がされている。 (3)3年生以上は「学習の道すじ」として学習の目当てが示されており、学習の見通しを持ちながら学べる工夫がされている。 (4)「学習を広げる」では、人物、関連書籍、格言等を紹介し、多面的・多角的な学習への配慮がなされている。 (5)発達段階に応じた文字の大きさ、字数になっており、シンプルな紙面構成で児童が内容理解に集中できるよう配慮がなされている。 (6)全体的に彩度を抑えた柔らかな色合いの挿絵を採用し、児童の意識を教材に集中できる配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1)児童の発達段階に合う、長く読み継がれている読み物教材や、児童が親しみやすい人物教材、感動的な実話を、各学年に適切に配列する工夫がなされている。 (2)本冊で学んだ内容を基に、自己を見つめ、考えを書き綴る別冊「道徳ノート」を活用することで心の変化や成長を実感し、より発展的に学習できる配慮がなされている。 (3)いじめや情報モラルなどの現代的な課題に関わる教材を3年生から発達段階に応じて取り上げ、児童が自分の問題として考える中で、多様な価値観を引き出すことができる配慮がなされている。 (4)教材の挿絵は、内容理解を行う指導の妨げにならないように、穏やかな色調で、適切な大きさとなるよう配慮がされている。 (5)別冊「道徳ノート」に、1年間の「学習の記録」を累積していくことで、児童、保護者が読み返し学習状況を振り返るとともに、成長を実感できるよう工夫がされている。
4 全体的な特色	・本冊では教材の冒頭に学習の目当てを示し、目的をもって学習を進められるようにし、児童の話し合いや発展的な学習を盛り込むことで、より多面的・多角的に道徳的価値の理解ができるよう工夫がされている。 ・別冊では児童が思いを綴り自己を見つめる観点を大切にした学習が累積できるよう配慮がなされ、本冊と合わせた2冊の相乗効果で道徳的価値の理解を一層深める工夫がされている。